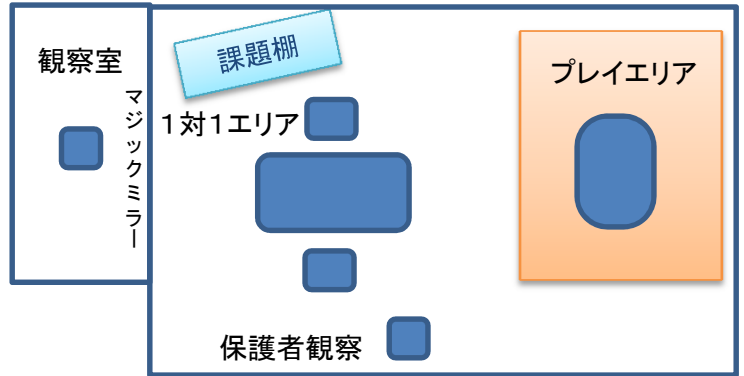


スタートセッション時のアセスメント・支援計画のプロセス Ver.01

【スタートセッションの目的】

- ・障害特性、認知特性のアセスメント
- ・特性と支援に関する保護者との共通認識もしくは、認識の違いの確認
- ・クラスルーム・事業所での最初の環境設定及び支援、ルーティンなどをプランニングして、保護者及び当事者から同意をもらう。
- ・最初に何を教えるかの課題設定を行い(療育及び教育の方向性の確認)保護者及び当事者に同意をもらう。





【Iセッション】

目的	【Iセッション】はアセスメントを中心にした個別セッション。理解や概念、基本スキルのアセスメントを1対1エリア及び遊びエリアの2つの場面で実施。	
場面設定	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1エリア、遊びエリア ・保護者は、観察室からマジックミラーで観察するか、セッションルームで椅子に座って観察 	
準備	理解、概念、基本スキルのアセスメントの材料、いくつかのパターンの玩具、おやつ・食器等	

主な内容	留意点
1. 基本情報の記入・聞き取り:	<ul style="list-style-type: none"> ・faceシート等を活用して記入 ※他の機関からの情報があつた場合は、記入しているのを保護者に見せ確認
2. 保護者ニーズシートの聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とコミュニケーションしながら聞き取る
3. 理解・基本概念のアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> ・自立課題アセスメント【基本アセスメント】シート ・個人情報シート
4. 自立課題のアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の実態、年齢にあわせた課題の教材を準備する ・自立課題アセスメントシート
5. 特性のアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1エリア、遊びエリアの様子を自閉症・発達障害特性シートに記入する。 ・自閉症・発達障害特性シート
6. 特性に関する共通認識	保護者との特性の共通認識、もしくは認識の違いについて確認する
7. 構造化などの支援及び課題の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて構造化等の支援を保護者と確認しながら入れていく IIセッションの目的と、追加する支援について同意をとる ・構造化・支援シート
9. ディレクターとの確認事項→資料整理	<ul style="list-style-type: none"> * 自閉症・発達障害特性シート * 保護者ニーズシート * すてっぷシート(形式1) * 自立課題アセスメント【基本アセスメント】シート * 個人情報シート * タスク計画シート: 自立課題アセスメントシートからタスクの計画※ ※必要に応じて、自立課題シートを活用する

【Ⅱセッション】

<p>目的</p>	<p>【Ⅱセッション】は、【Ⅰセッション】のアセスメントをもとに準備した環境設定（環境の整理統合、時間の整理統合）、構造化された課題の設定での個別セッション。課題の設定、支援に関しては保護者と確認をする</p>	
<p>場面設定</p>	<p>・1対1エリア、遊びエリア、必要に応じて他のエリアを設定する(例:自立エリア等) ・保護者は、観察室からマジックミラーで観察する。 ※母子分離が難しい場合は、セッションルームで観察し、観察しながら母子分離の機会を探る(無理に勧めない)</p>	
<p>準備</p>	<p>構造化された自立課題、理解、概念、基本スキルアセスメントの材料、いくつかのパターンの玩具、おやつ・食器等 必要に応じてパーテーション、スケジュール、コミュニケーションシステムなど</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	
<p>主な内容</p>	<p>留意点</p>	
<p>1. 事前の準備</p>	<p>環境の設定及び構造化された課題等を準備する(必要に応じて保護者に確認する)に見せ確認</p>	
<p>2. アセスメントの継続</p>	<p>・実施できなかったアセスメントを実施する)</p>	
<p>3. 課題を教える</p>	<p>・構造化された課題を1対1のエリアで教える ・タスク計画シート:再構造化は取消線と朱書</p>	
<p>4. 基本ルーティンを教えはじめる</p>	<p>・基本習慣(特にfirst-,then-)を教える</p>	
<p>5. 特性に関する共通認識</p>	<p>保護者と特性の共通認識、支援の方向性、課題設定について確認し、同意をいただく</p>	
<p>6. 次のセッションの確認</p>	<p>Ⅲセッションの目的と、追記する支援について確認をとる</p>	
<p>7. 資料に追記する</p>	<p>・アセスメントの資料の追記、訂正を加える * 自閉症・発達障害特性シート * 保護者ニーズシート * すてっぷシート(形式2) * 自立課題アセスメント【基本アセスメント】シート * 個人情報シート * タスク計画シート:自立課題アセスメントシートからタスクの計画</p>	

【Ⅲセッション】

目的	【Ⅲセッション】は、【Ⅰ・Ⅱセッション】のアセスメントをもとに準備した環境設定（環境の整理統合、時間の整理統合）、構造化された課題の設定での個別セッション。 <u>クラスルームの支援を念頭において、基本習慣を教える</u>	
場面設定	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1エリア、遊びエリア、必要に応じて他のエリアを設定する(例:自立エリア等) ・保護者は、観察室からマジックミラーで観察する。 ※母子分離が難しい場合は、セッションルームで観察し、観察しながら母子分離の機会を探る(無理に勧めない) 	
準備	構造化された自立課題(Ⅱセッションの後再構造化したものを含む)、理解、概念、基本スキルのアセスメントの材料、いくつかのパターンの玩具、おやつ・食器等 必要に応じてパーテーション、スケジュール、コミュニケーションシステムなど	
	主な内容	留意点
1. 事前の準備		環境の設定及び構造化された課題等を準備する(必要に応じて保護者に確認する)に見せ確認
2. アセスメントの継続		・実施できなかったアセスメントを実施する)
3. 課題を教える		<ul style="list-style-type: none"> ・構造化された課題を1対1のエリアで教える ・タスク計画シート:再構造化は取消線と朱書
4. 基本ルーティンを教える		・基本習慣(特にfirst-,then-)を教え、クラスルーム移行のイメージをスタッフが持つ
5. 特性に関する共通認識		保護者と特性の共通認識、支援の方向性、課題設定について確認し、同意をいただく
6. 次のセッションの確認		Ⅲセッションの目的と、追記する支援について確認をとる
7. 資料に追記する		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの資料の追記、訂正を加える * 自閉症・発達障害特性シート * 保護者ニーズシート * すてっぷシート(形式2) * 自立課題アセスメント【基本アセスメント】シート * 個人情報シート * タスク計画シート:自立課題アセスメントシートからタスクの計画